

神谷 直亮

大変遅くなってしまったが、メディアの総合イベント「InterBEE2023」に出展した衛星通信関連の事業者を紹介する。主催した電子情報技術産業協会の12月19日の発表によれば、リアル会場とオンラインを合わせた来場者数は、45,694名に達したという。

今年の幕張メッセ会場に顔を見せた衛星通信関連の事業者は、エーティコミュニケーションズ(AT Communications)、東芝、加藤電気工業所、理経、マウビックの5社であった。

AT Communications社は、Cobham Antenna Systems社製直径1mのアンテナを搭載したエコ衛星中継車とSWE-DISH社の「DA120」(直径1.2m)を搭載したSNG車を目玉にして出展した。前者の車体は日産エルグランドで、インマルサットGlobal Express衛星を使った通信を実現するのが特色である。後者は、お馴染みのトヨタハイエースパックで悪路・荒地走行仕様になっている。さらに、AT Communications社は、山形放送向けに製作したという駅伝対応の報道中継車のPRにも余念がなかった。

今年を通して熱心に売り込みを続けてきた「SATCUBE」小型平面アンテナについては、3セットをブースの正面に並べ、パッ

テリー、架台、キャリーケースなどの付属品も紹介していた。可搬局に関しては、今回SWE-DISH社の「CCT-120」(直径1.2m)が目玉を引いた。

東芝は、ブースの中央に報道支援向けの小型衛星通信中継車を出展して意表を突いた。車上には、米Kymeta社製のKuバンド対応の平面アンテナ「u8」を搭載して、機動性に優れている点を強調していた。ブースの担当者によれば、「u8は、メタマテリアルベースの電子ビームフォーミングアンテナで、長さは89.5cm、幅は89.5cm、高さは14cm。通信速度は、下り最大5Mbps、上り最大2Mbps」とのことであった。

加藤電気工業所(本社：東京・北区)は、直径4.5mのアンテナをブースの前面に押し出して出展して来場者の注目の的になった。担当者は、「12分割して設置現場に持ち込んで組み立てる。すでに山口放送、青森放送、北日本放送、南海放送などに納入済みの製品」と説明していた。単板によるアンテナの最大径を聞いてみたら「直径2.4mまでなら鏡面加工が可能」との回答であった。なお、同社は、衛星通信アンテナ以外に、ラジオ放送用空中線、テレビ

放送用鉄塔、FPU基地局、ヘリコプター自動追尾アンテナ回転装置なども手掛けている。

理経は、米ST Engineering社製の衛星通信用平面アンテナを出展して関心を買った。長さ45.5cm、幅27.6cm、高さ10.3cm、重量8kgという携帯性に優れたPlanar Arrayアンテナで、Kuバンドで動作する。シンボルレートについては、「最大29Mbps」と説明していた。

マウビック(本社：静岡県浜松市)は、衛星通信可搬局を駆使するライブイベントのアップリンクサービスで知られる。今回は、可搬局の出展は見送り、VISLINK社のワイヤレスカメラシステムを中心としたデモでブースを盛り上げていた。その他、MediaKind社のコーデック(CE1 and RX1)、ST Engineering iDIRECT社のモデム(MCX8000 & MDM-5010-HW-02)、Quintech社の衛星通信送受信用のRF機器、AMCOM社の衛星伝搬用送信機を出展して注目を集めた。

予想外だったのは、上述した5社以外にインターネットイニシアティブ(IIJ)社がブースを構え、小型可搬型のデータセンターを低軌道周回衛星(LEO)でネットワークするコンセプトを披露して注目を集めた。具体的には、DXedgeとしてのIIJマイクロデータセンター設備の上に「Starlink」LEO衛星の小型送受信平面アンテナを搭載して、データセンター間の接続を実現しようという構想である。なお、IIJは、東京・江東区東陽町や目黒区渋谷などにデータセンターを所有し、高品質なDCファシリティと多彩なネットワーク付加価値サービスで知られる。



写真1 「InterBEE2023」のAT Communications社のブースには、エコ衛星中継車、SNG車、可搬局、「Satcube」などが並び壮観であった。



写真2 東芝は、車上に米Kymeta社製のKuバンド対応の平面アンテナ「u8」を搭載した小型衛星通信中継車を展示して意表を突いた。

「InterBEE」の常連とも言えるNHKは、環境に配慮した衛星放送用アンテナを2種展示していた。DXアンテナ製の「BC453SG」と日本アンテナ製の「45SRLB」である。「BC453SG」は、BS・110度CS受信で、4K8K衛星放送に対応できる。耐風速70m/secを誇るのが特色と言える。「45SRLB」は、新4K8K衛星放送対応の45cm型で、BS・110度CS放送に右旋円偏波と左旋円偏波の受信ができる。

なお、NHKは、衛星を打ち上げるロケットを撮影するマルチカメラも出展して関心と呼んだ。上下左右に4台のカメラを組み合わせて、上昇するロケットを追跡できるのが特色である。

「スゴいぞ、4K8Kキャンペーン」 記者会見

放送サービス高度化推進協会（A-PAB）は、11月18日に「スゴいぞ、4K8Kキャンペーン」をテーマにした記者会見を開催した。NHKと民放5局を巻き込んだ今回の会見の目玉は、4K8Kキャラクター「ヨンハチさん」の発表であった。「ヨンハチさん」の特徴は、背中に衛星に搭載する太陽電池パネルを背負っており、いかにも衛星放送を推進するキャラクターらしいイメージに満ちている。また、今回の会見には、スペシャルゲストとして演歌歌手の藤あや子、マジシャンのMr.マリックが登場して脚光を浴びた。

今回の記者会見では、まず、相子宏之理事長が「放送開始から5年を迎えた今年は、4K8K衛星放送の良さを視聴者に再認識してもらおう年である。また、4K8Kテレビの良さを知ってもらうことで、購入してもらえるよう本格的に取り組む年でもある」と述べて普及への決意を示した。

次いで、総務大臣政務官の小森卓郎氏が登壇して、「4K8K衛星放送の普及と将来像を視野に入れて、放送制度の在り方に関する検討会の下で諸課題への対応を討議してもらっている」と政府の方針を表明した。さらに、NHKの稲葉延雄会長が登壇して



写真3 藤電気は、直径4.5mのアンテナをブースの前面に押し出して出展して来場者の注目の的になった。

「NHKは、12月1日から従来の2チャンネルのBS2Kを統合した新NHK BSとBSプレミアム4Kの2本立てで放送を継続することになった。BS8Kについては、今後8K放送ならではの魅力を発揮しながら、放送以外でも8Kの価値を後世に伝えられるような取り組みを行っていく所存」と述べた。

この後、日本民間放送連盟の遠藤龍之介会長、電子情報産業協会AVC部会長の豊島明、パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション社長、日本ケーブルテレビ連盟の塩治憲司会長の挨拶が続いた。中でも塩治会長は、「CATV連盟加入の事業者は、現時点で全国2000万世帯に4K放送を提供できる。また、4K放送対応のセットトップボックスの設置済み数は、270万台に達している」と具体的な数字を挙げて注目を集めた。

今回のキャンペーンのスゴさを示すNHKと民放5局の目玉番組については、次の通り紹介された。

NHK BSプレミアム4K：「はるかなる古代文明」「フロンティア その先に見える世界」「釣り人万歳スペシャル 日本三景で釣り自慢！」（これらの内の「はるかなる古代文明」は、上白石萌音をナビゲータにして



写真4 IJ社は、同社製のマイクロデータセンター設備の上に「Starlink」LEO衛星の小型受信平面アンテナを搭載してネットワーク化するコンセプトを紹介していた。

マヤやアンデス・インカなどの古代文明を解き明かしていく番組である)

BS日テレ4K：「京都天下人が愛した美 北川景子が迫る名宝の秘密」（北川景子が豊臣家と徳川家の至宝の秘密を解き明かす番組）

BS朝日4K：「あなたの知らない京都旅 都のナンバーワン巡り」（様々なジャンルのナンバーワンに位置づけられる建物、仏像などを賀来千香子と渡辺大が紹介する番組）

BS TBS 4K：「吉田類の年またぎ酒場放浪記～酒は愛！飲んで、食べて、冬の東北巡り」「ヒロシのぼっちキャンプ 俺のオーストラリア2時間スペシャル」

BSテレ東4K：「土曜は寅さん 4K デラックス」「秘境黒部 100年物語～未来へ紡ぐマ守り人たち～」

BSフジ4K：「三屋清左衛門残実録」と「Time Trip～伊豆半島ジオパーク 噴火と衝突を繰り返す伊豆諸島」

Naoakira Kamiya
衛星システム総研 代表
メディア・ジャーナリスト

SWE DISH

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員

1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m 以下（地下駐車場可）


3.6 KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ポール4m 搭載
強化サスペンション

国内（100V）海外（240V）対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション

SMART SNG
HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

<http://www.bizsat.jp>



設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコミュニケーションズ株式会社
TEL: 03-5772-9125

communications k.k.